

観光が地域に与える影響を地域で共有する取組業務報告書（概要版）

- 観光振興が地域にもたらす恩恵と、一部観光地の混雑やマナー問題などの課題と対策についてリーフレット4万部を作成し周知した。
- リーフレットへの理解の度合いを測るためアンケート調査を実施し、262人から回答を得た。小樽観光の現状が「伝わった」と回答した人は**81.30%**、観光が地域への経済効果や活性化につながる事が「伝わった」と回答した人は**74.81%**であり、観光振興に対する市民理解の促進に繋がった。KPI指標：アンケート調査で資料を理解したと回答した割合の目標値（50%）を大きく超える結果となった。
- 観光のあり方について自由記述方式で考えを聞いたところ、アンケート回答者の**67.94%**が回答し、市民意識の向上に繋がった。

目的

背景

○観光入込客数はR6年度806万人と年々増加している。
○観光客による私有地への無断立入などのマナー違反、路線バスが観光客で混雑し市民が乗車できないなど、いわゆるオーバーツーリズムが顕在化し、市民生活に影響が出ている。



観光が地域にもたらす影響が見える化するためリーフレットを作成し、観光の恩恵と課題、対策を市民と共有し、理解を促す。

取組内容

周知リーフレットの概要

- ・サイズ：A3サイズ二つ折り（仕上りA4サイズ）
- ・掲載内容：小樽市の現状、観光による経済効果、くらしやまちづくりと観光、市民へのインタビュー、小樽観光の課題と対策、市長からのメッセージ
- ・アンケート：選択式2問、記述式1問の計3問
- ・印刷部数：4万部

周知リーフレットの配布方法

- ・エリア：小樽市内全域
- ・新聞折込（北海道、読売、朝日、毎日、日経の各紙）
- ・市内全町内会
- ・市内全中学校および高校
- ・市内中心部商店街
- ・その他

調査結果の取りまとめ等

- ・アンケートの回収方法：1)WEBフォームでの回収 2)郵送による回収
- ・回収件数：262件



成果

- リーフレットを作成し、新聞折込や町内会、学校配布などにより広く周知することで、小樽市の現状や観光の恩恵、課題やその対策について地域で共有し観光振興に対する市民理解の促進に繋がった。
- 観光振興に対する市民の意見や感想・提言を引き出すことによる市民意識の向上に繋がった。

アンケート問3「市民の安心快適なくらしと両立する小樽観光のあり方についてのあなたの考え」集計結果概要

※1人の意見の中に複数のカテゴリに分類される内容が記載されている場合があるため、回答人数とカテゴリ毎の件数合計は一致しない。

▶ オーバーツーリズム・迷惑行為（45件）

- ・ 市民が快適に暮らせるようにオーバーツーリズム対策をお願いしたい
- ・ 一部時間帯や地域への観光客の集中を分散する取り組みを実施してほしい
- ・ 横断歩道の信号無視や冬季の車道歩行など、交通ルールの周知強化
- ・ 観光地付近で多い違法駐車に対する周知強化

▶ 交通（バス・駐車場）（33件）

- ・ 路線バスが混雑し市民が乗れない時間帯があるので、混雑緩和策を
- ・ 市民の路線バス確保の観点から、観光客向け周遊バスの増設
- ・ 駐車場の不足や分かりにくさの改善

▶ インフラ整備（歩道・除雪・清掃）（30件）

- ・ 観光客が多いエリアの歩道凍結や段差解消、除排雪対策強化
- ・ 駅から観光地までの歩道整備や除排雪に力を入れてほしい
- ・ トイレや清掃など基礎インフラの強化

▶ 市民還元・参加・優遇（14件）

- ・ 市民割引や優遇制度の導入
- ・ 商店街や観光地の清掃など、市民参加型の取り組みを実施し、地域活動を観光とつなげる

▶ 多言語案内・ガイド（14件）

- ・ 多言語ガイドブックの配布とマナー啓発の同時実施
- ・ 注意喚起と案内表示の英語化
- ・ 観光案内所の多言語対応の充実

▶ 宿泊税 / 観光税（11件）

- ・ 宿泊税の引き上げを含めた財源確保と、歩道整備など安全対策の強化を提案
- ・ 宿泊税の上乗せで施策費用を賄うべき

▶ 商店街活性化（9件）

- ・ ○○駅前アーケードの空き店舗が目立つ。特色づくりで運河依存の状況を改善すべき
- ・ 堺町通り商店街への観光客集中を、○○駅周辺商店街へ分散する取り組みが必要

▶ 産業多角化・雇用（8件）

- ・ 小樽観光の現状や経済効果について理解できた点がよかった。
- ・ 観光一本足では若者の就業機会が不足。他産業へ波及させ、さらなる雇用創出が必要
- ・ 観光関連は正社員枠が少ないため、働く場の拡充が人口維持に不可欠

▶ 自然資源・周辺エリア整備（7件）

- ・ 塩谷丸山の駐車場・トイレなどの基礎整備や登山口周辺の自販機設置を求める
- ・ 祝津・オタモイ・旭展望台の整備と、安全向上に向けた標識や横断歩道の改善

▶ エリア分散・ナイトタイム（5件）

- ・ 夜のコンテンツ不足で宿泊滞在が伸びにくい。他都市事例を参考に夜間の賑わい創出を
- ・ 時間・場所の分散で混雑を緩和し、朝も夜も稼げる回遊整備を段階的に推進

▶ その他（70件）

- ・ 観光が地域にもたらす恩恵について改めて認識することができた
- ・ 施策の効果が見えない。市民生活の中で観光の恩恵を実感できる変化を重視すべき
- ・ 観光で得た財源を、転入者増加につながる空き家・農地活用に使うべき